

令和5年度小松市立犬丸小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	自治的な集団づくり 自己有用感		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な活動を支えることにより児童に達成感や自己有用感をもたせる。 ①たてわり活動による異学年交流を深め、よりよい人間関係の構築を図る。 ②あたたかい人間関係を築けるように、毎月1回、スキルタイムに、構成的Gエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングに取り組む。 ③代表委員会を通じて、それぞれの学年の意見を反映させ、自治的な学校行事になるように話し合う場を設ける。 		
教育相談・特別支援教育	いじめ・不登校の未然防止		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面や人間関係で困っている児童を丁寧に見取るため、教職員同士で連携し、情報共有や支援を行う。 ・組織的に運営し、必要に応じて支援会議を行い、校内での支援を拡充していく。 ・児童個人の実態を把握し、効果的な支援方法について、巡回相談の要請をかけ、校内研修を実施する。 ・児童アンケートを実施し、必要に応じてカウンセリングを行い、情報を共有できる体制を整える。 		
基本的な生活習慣の確立	アウトメディア		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭でのメディア機器使用の約束」について、児童が主体となって考え、発信する。 ・学期に一回「すこやかカードの取組」を実施し、家族と一緒に規則正しい生活を送る機会とする。 		
読書指導	〈読書の質的な向上を図る〉		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「本のとびら」「この本読もう」を活用し、読書量を上げる ・図書館と連携を図り、読書を通してコミュニケーション力を向上させる取組を行う。 		
情報教育	学習の場面でのICT活用		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校研究と連動させ、導入の場面、学び合いの場面でのICT機器を取り入れた授業展開を工夫していく。研究授業で積極的に機器を利用し、ICT機器の活用による教育方法の改善・充実を図る。 ・タブレットを活用した授業実践を交流し、ワークシートやデータを交流し、研修で、紹介する場を設ける。 		
健康教育	規則正しい生活習慣の確立		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に一回「すこやかカードの取組」を実施し、家族と一緒に規則正しい生活を送る機会とする。 ・ほげんだよりや掲示、保健指導を通じて、よりよい生活習慣について啓発する。 		
体力向上	休み時間や体育の導入を活用した運動能力向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳やロードレース大会・なわとび集会に向けて、事前に強化週間を設定し、水泳カード・マラソンカード・なわとびカードを活用することで、児童の意欲的な取り組みを促し、体力向上に努める。 ・令和4年度の体力テストの結果から本校の課題を把握し、一校一プランを作成し、運動能力向上に向け全校で取り組む。 		
家庭・地域との連携	開かれた学校づくり		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動への関心が高まるよう、各種通信、ホームページ等で情報発信をする。 ・地域人材を活用して、学習活動の充実を図る。 		

学校関係者評価			
---------	--	--	--